

2025年12月8日 M7.5 青森県東方沖地震の余震活動の多様性について

統計数理研究所 (熊澤貴雄、尾形良彦)

- ・ 青森県東方沖地震(M7.5)のあとに続いた余震の動きを、統計的に調べた。
- ・ 数日後に起きた最大の余震(M6.9)を境に、余震の起こり方が変わった。最大余震の後には、余震がその周辺に集まって起き、時間がたつにつれて比較的早く落ち着いていく傾向が見られた。
- ・ 余震を一様に扱うのではなく、時間によって起こり方が変わると考えた分析のほうが、実際のデータをよく説明できた。

